

マネジメントプログラムの 入試，教育，指導内容の概要

オープンキャンパス プログラム説明会
2025年12月6日

広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻
マネジメントプログラム

マネジメントプログラムの概要

- 名 称 広島大学大学院 人間社会科学研究科
人文社会科学専攻 マネジメントプログラム
(旧 広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻)
- 課 程 博士課程(前期2年、後期3年)
 - ✓研究者養成機能を備えた大学院
 - ✓専門職養成に特化した専門職大学院(MBAやMOTなど)とは異なる
- 設 置 令和2年(2020年)4月
- 入学定員 前期課程(修士)22名／後期課程(博士)12名

マネジメントプログラムの概要

参考資料

- マネジメント専攻（マネジメントプログラムの前身）
 - － 設 置 平成12年（2000年）4月
- 実績（2025年3月までの修了者）
 - 修士 459名
 - 博士 48名 論文博士7名

※52名の博士号取得者中、41名が修了後にフルタイムの大学教員に採用
後期課程単位取得退学者や前期課程修了者の大学教員も多数

マネジメントプログラムの概要

- 授業形態・・・『昼夜開講制』

火曜～金曜 14時35分～17時50分(90分×4)

18時00分～21時10分(90分×2)

土曜 11時00分～18時25分(90分×4)

原則として、日・月・祝は休み

授業は夜間と土曜日が中心。夏季休業期間中に集中講義を実施。

- 教員組織

専任教員 教授5名

准教授3名

講師1名，助教2名

非常勤講師 他大学教員，実務家(修了生も)

マネジメントプログラムの特徴(多様性)

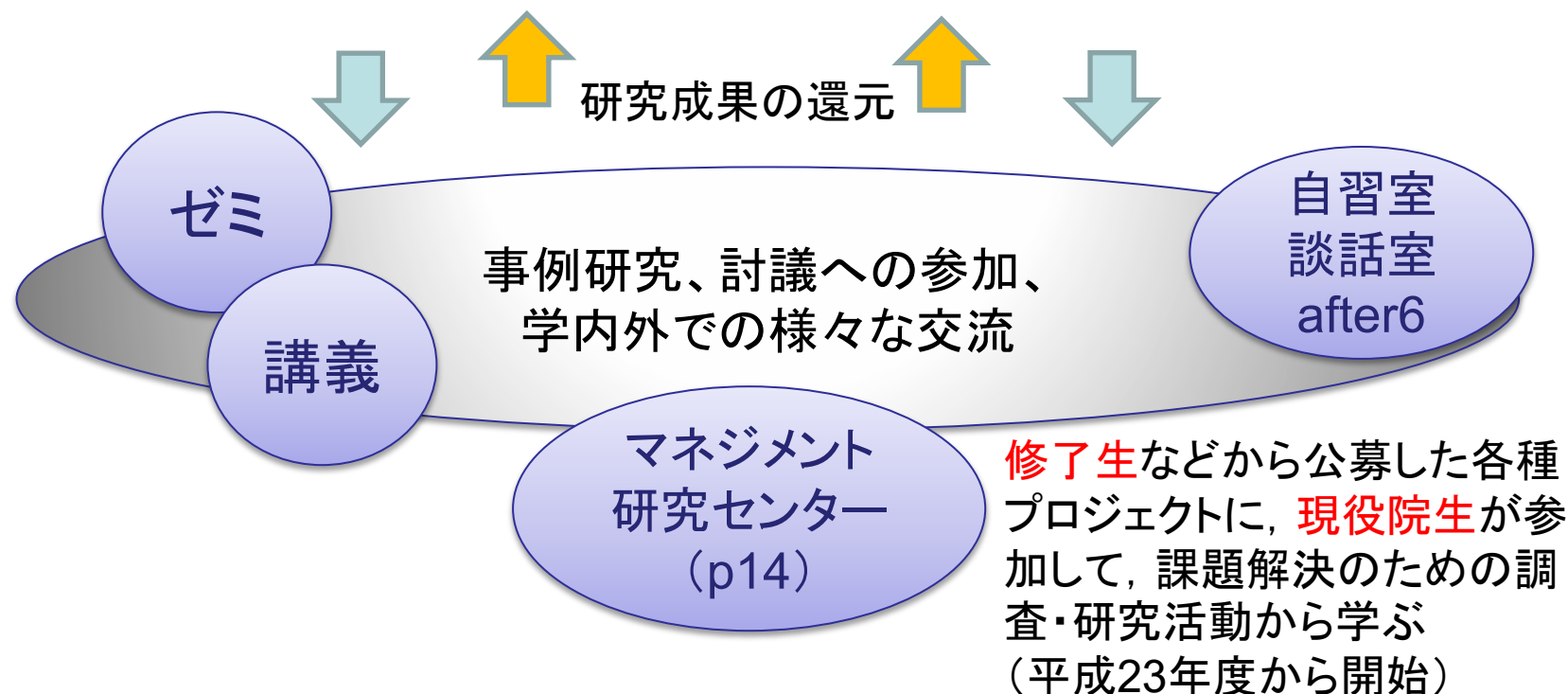
- 幅広い人々を受け入れ、組織の将来を担う人材を育成
 - 分野・年齢・国籍が多様な院生間の交流
- マネジメントプログラムの在籍者数(2025年10月1日現在)
 - 博士課程前期 45名
 - 社会人(15名), 留学生(30名), 22歳~65歳
 - 博士課程後期 32名
 - 社会人(23名), 留学生(9名), 26歳~61歳
- 分野横断的な教員陣による多彩な科目の提供
 - 経営学, 商学, 会計学, 情報学, 心理学, 文化人類学, 交渉学, 金融論など(**パンフレットp.16以降の教員紹介を参照**)
- 多様な研究テーマ
 - 教員は自分の専門分野から多少離れていても, 学生を受け入れて指導している(**修了生の論文題目一覧を参照**)

マネジメントプログラム

理論と実践の融合・交流

多様な院生(実践者)による,
現場からの課題の持ち込み

教員(研究者)による, 解決策を導く
ための最新の理論や手法の提供





日本語 English 中文 اللغة العربية español

サイトマップ 交通アクセス お問い合わせ

ENHANCED BY Google



大学院人間社会科学研究科

Home > 大学院人間社会科学研究科 > 学生便覧 > 2020年度 > マネジメントプログラム

大学院人間社会科学研究科
へようこそ

研究科長挨拶

概要

専攻・学位プログラム

学生便覧

> 2020年度

入試情報

研究・教員紹介

関連大学院

関連学部

マネジメントプログラム

広島大学基本理念、人間社会科学研究科の基本理念 (247.88KB)

学期区分・授業時間 (342.23KB)

研究科・専攻の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） (262.41KB)

プログラムの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） (251.7KB)

研究科・専攻の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） (255.23KB)

プログラムの教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） (239.8KB)

【履修・研究関係】

広島大学大学院人間社会科学研究科細則 (204.34KB)

広島大学学位規則人間社会科学研究科内規 (179.82KB)

履修手続、試験、成績等について (444.4KB)

他研究科専門科目履修届 (76.65KB)

大学院共通科目について (316.69KB)

研究倫理教育について (436.97KB)

博士課程前期の教育の特徴

コースワークとゼミナールのベストミックス

コースワーク(授業): **科目名はパンフレットP.9**

- 共通必修科目 5単位
 - 大学院共通科目 2単位
 - 研究科共通科目 3単位
- プログラム科目 12～16単位
 - 必修科目 1科目2単位
 - 特別研究(ゼミ)4単位
 - 選択必修 5科目10単位
 - (他のプログラム含めた選択) 7単位
- 他プログラム科目 (選択)2単位
- **研究の方向や内容に合致した授業科目を, 主指導教員の助言にもとづいて履修**
- 集中講義と合わせれば, 1年目で必要単位の大部分を修得可能(平日2～3日＋土曜日)

博士課程前期の教育の特徴

コースワークとゼミナールのベストミックス

ゼミナール(演習)

- 主指導教員による, 4単位の特別研究(週1コマ, 2年)
- 毎週の研究指導を通じて, **修士論文**や**課題研究**を作成していく
- 各自のテーマについて, 調査・分析結果の報告を積み重ね, 修士論文にまとめ上げる
- 集団指導, 個別指導、対面、オンラインなど, 種々の形式・方法で実施

修了要件

- 授業とゼミ, 合計30単位以上の修得
- 提出した**修士論文**や**課題研究**の審査合格

博士課程前期の教育の特徴

修士論文の合格要件

－ 分量

A4で50ページ程度(図表を含む, 4万～6万字)

－ 内容

- 未解決で, かつ研究に値するテーマであることを示す先行研究調査が適切に実施されていること(研究のオリジナリティの保証)
- 文献や調査結果(アンケート、インタビュー)等の明確な証拠にもとづいて, 論理的に主張がなされていること
- 自身の経験や主観を記述しただけ, 証拠の提示が不十分, 論理的一貫性に欠ける, など是不合格

－ 研究テーマは修了生の論文題目一覧を参照

※修士論文と課題研究の違いはp.13参照, その選択はM2の4月末に

博士課程前期の教育の特徴

共同指導体制

- － 主指導教員（1名）
 - ・ ゼミでの研究・論文作成指導
 - ・ その他就学上の助言
- － 副指導教員（2名）
 - ・ 研究テーマや研究手法に関連の深い教員
 - ・ ファーストイヤーレポート提出や中間報告会時の他，必要に応じて研究上の助言を与える

主・副の指導教員だけに限らず，**どの教員からも助言を受けることができる**

博士課程前期修了までのプロセス(4月入学) 予定

M1前期

- 研究計画の再考、リサーチ・クエスチョンの検討
- 先行研究(文献)調査

ゼミや授業に慣れる

M1後期

- 先行研究調査, 仮説の検討, 検証のための調査計画立案
- ファースト・イヤー・レポート提出(3月末)

研究テーマを固める

M2前期

- 調査(ヒアリングやアンケート)等の実施
- 中間報告会(公開, 7月末), 題目届提出(4月末)

研究に邁進する

M2後期

- 調査等の実施、結果の分析
- 論文作成(12月中に草稿の報告), 論文提出(1月末)

博士課程前期の入試

- 2026年2月実施(募集要項によります)
 - 出願期間 1月5日(月)～1月9日(金)17時必着
(出願方法はインターネット出願のみ)
 - 論文試験 2月7日(土)14時00分～ 16時00分
面接 2月8日(日)10時00分～
※受験生ごとの実施日時は, 受験票発送の際に指示
 - 募集人員 2026年4月入学(17名)
合格者発表 2月20日(金)14時(予定)

選抜は, 論文試験及び研究計画書、面接の結果を総合して行います。

検定料: 30,000円

博士課程前期の入試(学力検査)

- ・論文試験

大学院における講義の受講や修士論文作成に必要な現代常識や文章力を問うもので、専門知識を見るものではありません。

- ・面接

問題意識の深さと勉学意欲を重視します。

- ・採点基準・合否判定の基準

論文試験, 面接及び研究計画書 はそれぞれA～Dの 4段階評価とし, すべての評価がA又はBの者を合格とします。

なお, いずれかの項目がC評価である者については個別に検討して合否を決定します。

また, いずれかの項目がD評価である者は不合格とします。

博士課程前期の入試(研究計画書)

- 記載項目
 - 志望理由
 - 研究方法と実施計画
 - 修了後の実践
- 形式
 - A4判縦長で日本語(横書き)
 - 1部につき, 枚数は40字×30行で4枚(4,800字)以内
 - 本文とは別に表紙をつけ, 氏名とテーマを記載

研究計画書の書き方については, この後で別途説明

博士課程後期の教育

- 研究指導

- 3年間(大学院共通科目2単位, 研究科共通科目2単位, 特別研究6単位を修得)
- 一定の要件を満たせば早期修了可
- 主指導教員1名、副指導教員2名の共同指導体制

- ステップを踏んで研究を進めていく

- 先行研究を踏まえて, 研究に値するテーマであることを, 論文の形できちんと示す
- 研究成果を学会で報告, 批判や指導を受けて改善する
- その結果を論文にまとめて学会誌へ投稿する
- 学会誌への掲載(採択)＝研究成果の評価

- 博士号は, 研究者としての資格認定の意味
- 博士課程は研究活動をトレーニングする場

博士課程後期の教育

- 修了プロセス(Webサイト参照)
 - 3年間で博士論文を提出するための手順と標準的なスケジュール
 - 3年目の10月(4月入学の場合)に予備審査を申請し, 合格すれば本審査へ進む
- 予備審査の出願資格(研究成果)
 - 指定された学会誌への審査付投稿論文数1本以上

参考資料(マネジメント専攻・マネジメントプログラム)

52名が博士号を取得しており, その取得に要した期間は, 平均で6年

博士課程後期の博士論文作成スケジュール

◎各手続等の詳細は、各プログラムにおいて定める。

※（教）＝教授会（代議員会）（学）＝学務委員会（プ）＝プログラム教員会

標準的なスケジュール			学 生	指導教員グループ 審査委員会	プログラム教員会 学務委員会 教授会（代議員会）
年次	4月 入学	10月 入学			
1 年 次	4月	10月	研究倫理教育（大学院生 Basic）を受講	指導教員グループ編成	
	5月	11月	研究題目等を提出		指導教員グループ編成 承認（プ）（学）（教）
	6月	12月	（研究計画の立案）	（研究計画の指導）	
			研究計画概要を提出	※提出時期及び内容等は 各プログラムが定める。	研究計画概要の受理 （プ）
2 年 次	4月	10月	（学位論文を構成する論文の作成）	（研究及び論文作成の 指導）	
			研究倫理教育（大学院生 Advanced(D)）を受講 ※博士論文予備審査の願出まで		
	4月～ 12月	10月～ 6月	博士論文概要等を提出	予備審査の許可・審 査委員会等の編成	予備審査の開催予告 及び予備審査委員会の 編成承認（学・学生の家

2 年 次	4 月	10 月	(学位論文を構成する論文の作成)	(研究及び論文作成の指導)	
			<div>研究倫理教育(大学院生 Advanced(D)) を受講</div> <div>※博士論文予備審査の願出まで</div>		
3 年 次	4 月～ 12 月	10 月～ 6 月	<div>博士論文概要等を提出</div> <div>↓</div> <div>論文概要等の審査(予備審査)</div> <div>↓</div> <div>(博士論文を作成)</div>	<div>予備審査の許可・審査委員会等の編成</div> <div>予備審査(公開)</div>	<div>予備審査の開催予告及び予備審査委員会の編成承認(含:学生の審査要件確認)(プ)(学)(教)</div> <div>予備審査結果の報告・承認(プ)(学)(教)</div>
	1～2 月 ※3月・9月修了 以外は随時	7～8 月	<div>博士論文等を提出 (学位請求)</div> <div>↓</div> <div>学位論文審査・試験</div>	<div>本審査</div>	<div>博士論文の受理・審査委員会の編成承認(プ)(学)(教)</div> <div>本審査結果の報告・承認(プ)</div>
	3 月	9 月	<div>↓</div> <div>課程修了・学位取得</div>	<div>学位授与審査・修了判定(教)</div>	<div>学位授与(学長)</div>

博士課程後期の入試

- 2026年2月実施(募集要項によります)
 - 出願期間 1月5日(月)～1月9日(金)17時必着
(出願方法はインターネット出願のみ)
 - 口述試験 2月7日(土)10時00分～
※ 受験生ごとの実施日時は、受験票発送の際に指示
 - 募集人員 2026年4月入学(12名)
 - 合格者発表 2月20日(金)14時(予定)

選抜は、修士論文(又はそれに相当する論文)、研究計画書及び口述試験の結果を総合して行います。

検定料: 30,000円

※本学大学院の博士課程前期からの進学者は不要

博士課程後期の入試

以下を総合的に判断する

- 修士論文(又はそれに相当する論文)

修士論文に相当する論文については、個別に判断するため、別途問い合わせを

- 口述試験

研究課題が実務経験又は、修了後の進路との関連性を有し、**具体的で実現可能であるか**、博士課程を修了するに足りる**専門知識及び語学力を有する**と認められるか、を**修士論文**及び**研究計画書**を中心に試問を行います(募集要項:p.8)

- 研究計画書

様式は博士課程前期と同じ

参考資料として、公刊された論文等を提出することができる



続いて

研究計画書の書き方

(配布資料参照)